

鬪草芳原上、風吹羅帶輕、愁來不肯採、中有王孫名、

輕風動羅衣、城東春色早、相逐向芳原、爭採宜男草、右鬪草

〔續視聽草 五集 五〕友野煥幻玉集 美人鬪草

上林春色年々好、羯鼓催花花發早、鞦韆戲罷晴晝長、又喚女群鬪百草、笑語携手出房櫺、採擷菁英盈
筠籠、竟芳爭向薜蘿逕、避伴潛來芍藥叢、分曹成隊互相進、羅裙排列臙脂陣、銜奇角勝誰最多、賭取金
釵、矜得儁、棄時不似摘時情、玉纖揉碎輕拋擲、斜陽滿地無人收、亂紅殘翠香狼藉、君不見金屋阿嬌閉
長門、莫怪人情俄頃易、

〔禁秘御抄上〕前栽

前栽者昔瀧口承之、植菽戶菽云々、草無沙汰、有根樹忌方角、但上古無其沙汰如何、菊合前栽合時植
之、

〔伊勢集上〕式部卿の宮の前栽合に草のかう、

くさのかう色かはりゆく白露はこゝろをきてもおもふべき哉

〔扶桑略記 醍醐 二十三〕昌泰四年元延喜八月廿五日、有前栽合、

〔拾遺和歌集 賀 五〕右大臣源のひかるの家に前栽合し侍けるまけわざを、うどねりたちはなのすけ

すみがま侍ける、ちどりのかたつくりて侍けるによませはべりける、つらゆき

たがとしの數とかはみん行かへりちどりなくなる濱のまさごを

〔拾遺和歌集 賀 五〕天曆上 村御時、前栽のえんせさせ給ける時、小野宮太政大臣實藤原

萬代にかはらぬ花の色なればいづれの秋か君は見ざらむ

〔藤原清正集〕天曆の御時、かたわかちて前栽合せさせ給ひけるに、中宮の御方に花の枝にてふの

かた作てつけさせ給ひけるに、

前栽合